

兵庫県のヒゲナガゾウムシ (2)

(兵庫県甲虫相資料・172)

高 橋 壽 郎*

はじめに：1985年度に調査した結果前回報告した種に産地として加えておいた方が良い点があるのでそれ等をまとめておく。

15. *Platystomos sellatus* (Roelofs, 1879)

シロヒゲナガゾウムシ

美婁郡吉川町で薪にかなりたくさんいた(1♂, 11-VII-1985, 4♂, 2♀, 26-VII-1985, 1♂, 2-VIII-1985, leg.)。

17. *Phlocobius gibbosus* Roelofs, 1879

セマルヒゲナガゾウムシ

美婁郡吉川町で1♀が採集出来た(1♀, 26-VII-1985)。

18. *Xylinada striatifrons* (Jordan, 1895)

ナガフトヒゲナガゾウムシ

美婁郡吉川町のコナラの樹から蜂谷幸雄氏が1♂を採集された(29-VIII-1985)。県下からは2番目の記録になる(標本筆者保管)。

× × × × × × ×

21. *Androceras flabellicornis* (Sharp, 1891)

シリジロヒゲナガゾウムシ

Sharp により“Japan”を産地に *Tropideres* 属で記載された(l.c., p. 305, 1891)。

割合特徴のあるはっきりした種である。県下には広く分布しているように思われるが案外と個体数が多くないようである。

産地：川辺郡猪名川町槻並(1♀, 4-V-1979)。川西市大和、笹部〔仲田, 1970, 1978〕。神戸市鳥原(1♂, 5-VIII-1980)。宍粟郡赤西〔畑中, 1973, 1975〕。城崎郡城崎上山〔高橋, 1975, 1981〕。美方郡扇ノ山〔辻, 岸田1972, 高橋, 1981〕。

22. *Acorynus latirostris* (Sharp, 1891)

チャマダラヒゲナガゾウムシ

Sharp により“Nikko, Kiga, Higo, Oyayama, Kurigahara”を産地に *Tropideres* 属で記載された種である(l.c., p. 303, 1891)。

余り県下での産地が知られていない。

産地：相生市三濃山〔畑中, 1975〕。美方郡扇ノ山〔鈴木, 1960, 辻, 岸田, 1972, 畑中, 1973, 的場, 1978, 高橋, 1981〕。

23. *Litocerus laxus* (Sharp, 1891)

カオジロヒゲナガゾウムシ

Sharp により *Tropideres* 属として“from Yezo to Yuyama”として記載された(l.c., p. 304, 1891)。

県下にも広く分布している種である。

産地：川辺郡猪名川町槻並(3exs., 4-V-1979), 上阿古谷, 三草山〔仲田, 1982〕。神戸市丹生山(lcx., 5-V-1956), 谷上(lcx., 25-V-1958), 藍那(lcx., 10-VI-1978)。神崎郡大河内町川上(lcx., 4-V-1977, lcx., 18-VI-1977)。宍粟郡原(lcx., 11-V-1979), 音水(lcx., 13-VII-1958, 2exs., 10-V-1970, 2exs., 15-VII-1973, 4exs., 24-VI-1973)〔畑中, 1975〕, 坂の谷(4exs., 22-VII-1979)。豊岡市金山〔高橋, 1975〕。城崎郡日高町阿瀬溪谷〔高橋, 1981〕。養父郡水山の山(lcx., 27-VII-1955, 2exs., 27-VII-1957, lcx., 25-VII-1959)〔畑中, 1975, 高橋, 1981〕。美方郡扇ノ山〔辻, 岸田, 1972, 畑中, 1955, 的場, 1978, 高橋, 1981〕。

24. *Litocerus multiguttatus* (Nakane, 1963)

コモンダラヒゲナガゾウムシ

中根博士が“Mie, Hida, Kamikochi, Kyoto, Fukuoka”の各地を原産地に *Tropideres* 属で記載された種である(Fragm. Col. 8: 33, fig. 2, 1963)。同博士の図説もある(1963)。

県下での記録は少ない。

産地：宍粟郡音水音水(lcx., 25-VI-1972), 坂の谷〔的場, 1978〕。

25. *Litocerus securus* (Boheman, 1939)

アカミヒゲナガゾウムシ

従来 Roelofs が日本から記載した *L. rufescens* として知られていた種である(Ann. Soc. Ent. Belg., XXII, compt. rend.: IV, 1979)。Sharp は *Tropideres rufescens* として扱っていた(l.c., p. 307, 1891)。

*神戸市兵庫区水室町1丁目44

森本博士はカルカッタ産で Boheman が記載した *Tropideres securus* (Gen. Spc. Curc. V : 207, 1939) と同一種であるとして *Litocerus* 属に取扱れた (*Esakia* No. 15, p. 35, 1980)。“Kina Balu”産の *Litocerus anna* Jordan (Novit. Zool. x : 424, 1903) も同一種である。

県下にも割合いるように思う。

産地：川辺郡猪名川町木間生 (仲田, 1978, 1982)。神戸市烏原 (lex., 15-V-1981)。相生市三濃山 (畑中, 1975)。佐用郡大撫山 (lex., 25-IV-1979)。氷上郡 (山本, 1958)。養父郡氷の山 (lex., 21-VII-1958) (高橋, 1981)。

26. *Tropideres naevulus* Faust, 1887

キマダラヒゲナガゾウムシ

Sharp が “Buno, Moon, Temple, Kobe, Nikko, Yuyama, Kashiwagi, Sapporo, Junsai” を産地に *T. germanus* として記載された種 (l.c., p. 304, 1891)。同じく Sharp が “Yezo, Hitoyoshi, Kashiwagi” を産地に *T. vilis* として記載された種 (l.c., p. 305, 1891)。Oda が “Hokkaido” 産で記載された *T. yezoensis* (Trans. Shikoku Ent. Soc. XIV : 121, fig. 5, 16, 26, 34, 43, 53, 61, 67, 73, 82, 1979) は総て Faust が “Chabarofka” 産で記載された *T. naevulus* (Deut. Ent. Zeitt., XXXI : 162, 1887) のシノニムであると森本博士は整理された (*Esakia* No. 15, p. 40-41, Fig. B, Photo. q, r, s, 1980)。

県下にも広く産する種である。

産地：川辺郡猪名川町上阿古谷 (仲田, 1978, 1982)。槻並 (2exs., 4-V-1979)。川西市笹部, 横地, 黒川 (仲田, 1978, 1982)。Kobe, Moon Temple (Sharp, 1891)。神戸市藍那 (lex., 27-VI-1978, I. Matoba det. in his coll. lex., 27-VI-1978, 6exs., 22-IX-1978, 9exs., 27-IX-1978, 2exs., 4-X-1978, 2exs., 10-V-1979, lex., 9-VII-1979, lex., 16-VII-1979)。烏原 (lex., 30-V-1981)。美嚙郡吉川町 (lex., 27-VI-1985)。佐用郡大撫山 (3exs., 25-IV-1976)。宍粟郡福知溪谷 (lex., 20-VI-1976)。赤西 (畑中, 1975)。養父郡氷の山 (中根, 1953, 畑中, 1975, 高橋, 1981)。美方郡扇の山 (的場, 1978)。小代谷 (高橋, 1970, 1981)。

27. *Tropideres roelofsi* (Lewis, 1879)

クロフヒゲナガゾウムシ

Lewis が “Nagasaki, Iponmatsu” 産で *Litocerus* 属で記載された種である (Ann. Mag. Nat. Hist. 5(4) : 465, 1879)。

県下にも広く分布している様である。余り個体数は多くないように思われる。

産地：川辺郡猪名川町槻並 (2exs., 4-V-1979)。川西市笹部 (仲田, 1978, 1982)。多可郡鳥羽 (3exs., 6-IX-1975)。宍粟郡赤西 (畑中, 1973, 1975)。氷上郡 (山本, 1958)。養父郡氷の山 (lex., 24-VII-1955) (高橋, 1981)。美方郡扇の山 (的場, 1978)。

28. *Autotropis distinguendus* (Sharp, 1891)

スネアカヒゲナガゾウムシ

Sharp が “Nagasaki, Kiga, Miyanoshita, Yokohama, Junsai” を産地に *Tropiders* で記載された種である (l.c., p. 310, 1891)。

兵庫県下にも普通に属する種で広く分布する。

産地：川辺郡猪名川町槻並 (lex., 2-VII-1978, 7exs., 4-V-1979)。川西市大和, 笹部 (仲田, 1979, 1978, 1982)。神戸市烏原 (lex., 2-VI-1974, lex., 26-V-1974, lex., 13-V-1974, lex., 25-V-1975, lex., 29-V-1980, lex., 5-V-1980, lex., 20-VII-1982, 3exs., 4-V-1983, lex., 8-V-1983, I. Matoba det. in his coll. lex., 11-V-1983, 2exs., 12-V-1983, lex., 15-V-1983, 2exs., 25-V-1982, lex., 1-VI-1983, lex., 25-IV-1984, lex., 5-V-1984, lex., 17-IX-1984, lex., 27-V-1985, lex., 5-VI-1985)。藍那 (lex., 5-VII-1978)。妙法寺 (lex., 16-XI-1978, lex., 30-IV-1979)。逢山峡 (lex., 17-V-1985)。加東郡東条町森 (lex., 7-VI-1984)。美嚙郡吉川 (lex., 30-V-1985, lex., 27-VI-1985, 2exs., 11-VII-1985)。多可郡鳥羽 (43exs., 19-VII-1975, 6exs., 8-V-1976)。揖保郡龍野市 (畑中, 1975)。佐用郡大撫山 (lex., 25-IV-1976)。宍粟郡福知溪谷 (lex., 16-VI-1975, M. Yuma leg., lex., 20-VI-1976)。原 (3exs., 11-V-1979)。音水 (lex., 20-VII-1969, lex., 10-V-1970) (畑中, 1975)。赤西 (13exs., 27-V-1979)。多紀郡篠山 (畑中, 1975)。養父郡氷の山 (lex., 27-VII-1957) (畑中, 1975, 高橋, 1981)。美方郡扇の山 (的場, 1978)。

29. *Uncifer akashii* Morimoto, 1981

ヨリメチビヒゲナガゾウムシ

森本桂博士が茨木県古川 (Furukawa) 産 1♂ で新種記載された種である (*Esakia*, No. 17, p. 60-61, figs. H-J, 1981)。種名は採集者に献名されている。

この属の各種とは前頭が大変狭くなっていることと触角と脚がコンパクトであることで区別が出来るとなっている。

神戸市内で可成り採集出来ている種である。的場績氏に同定して頂いたが小さいので見落されているのではないだろうか。雑木林を長い網で叩くように受けると入ってくる。市内でこの位いるのだから恐らく県下の産地は

もっと他にも多くある様に思われる。東京の大井埠頭で灌木をビーティングして採集出来ている記録がある（清泉，月刊むし No.169, p.38, 1985）。

産地：神戸市鳥原（2exs., 9-V-1974, lex., 9-V-1974, I. Matoba det. in his coll. lex., 6-VI-1982, lex., 10-VI-1982, lex., 18-VI-1982, lex., 26-VI-1982, lex., 29-VI-1982, lex., 29-V-1983, lex., 1-VI-1983, lex., 6-VI-1983, lex., 19-VI-1983, lex., 28-VI-1983, lex., 30-VI-1983, lex., 2-VII-1983, lex., 2-VII-1983, lex., 4-VII-1983, 2exs., 8-VII-1983, 3exs., 11-VII-1983, lex., 13-VII-1983, lex., 29-VII-1983, I. Matoba det. in his coll. 2exs., 21-VI-1984, 2exs., 30-VI-1984, lex., 10-VII-1984, lex., 7-VIII-1984, lex., 6-VII-1984, lex., 7-VII-1984）。

30. *Uncifer pectoralis* (Sharp, 1891)

キアシヒゲナガゾウムシ

Sharp により “Kashiwagi, Kurigahara, Nikko, Junsai” 産で *Tropideres* 属で記載された種である (l. c., p.315, 1891)。

今迄県下での記録が無かった。案外と見落しているのではないだろうか。

産地：養父郡田淵山 (lex., 5-VIII-1975, M. Yuma leg., I. Matoba det.)。

31. *Uncifer truncatus* (Sharp, 1891)

ウスグロヒゲナガゾウムシ

Sharp により “Kashiwagi, Kurigahara, Chuzenji, Nakasaki” 産で *Tropideres* 属で記載された (l. c., p.315, 1891)。

県下での記録がほとんど知られていない。良く調べなくてはならない種である。

産地：多可郡鳥羽 (lex., 19-VIII-1975, I. Matoba det.)。美方郡小代谷〔高橋, 1976, 1981〕。

32. *Unciferina japonica* Morimoto, 1981

クロホシチビヒゲナガゾウムシ

本種をタイプに森本博士は *Unciferina* 属を創設された (Esakia, No. 17, p.65-66, 1981)。

同時に博士は本種を対島の M. Tatera 産 1♀をタイプに他に福岡県下 Ino, Yamadamura, Mt. Fukuchi, Mt. Inunaki 産のものをパラタイプにして新種として記載され (l. c., pp.66-67, Figs. 5, A-E, 1981), 原色でも図説しておられる (1984)。

本種も神戸市内に割合たくさんいる。的場績氏に同定して頂いたが斑紋がはっきりしているので割合わかる種である。

兵庫県下からは初めて記録するが案外県下に広く分布している種なのではないだろうか。

産地：神戸市鳥原 (lex., 19-VI-1982, lex., 29-VI-1982, lex., 2-VII-1982, lex., 2-VII-1983, lex., 4-VII-1983, lex., 8-VII-1983, 2exs., 11-VII-1983, lex., 11-VII-1983, I. Matoba det. in his coll.)。

33. *Rhaphitropis guttifer* (Sharp, 1891)

コモンヒゲナガゾウムシ

Sharp が “Nagasaki” 原産で *Tropideres* 属で記載した種である (l. c., p.314, 1891)。同じく Sharp が *T. concolor* と記載した種も同じである (Yokohama 原産. l. c., p.314, 1891)。

幼虫、蛹等の図説も常楽氏が発表している (新昆虫, Vol.5, No.10, p.33, 1952)。

産地：川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市鳥原 (lex., 4-V-1974, 2exs., 26-V-1974, lex., 26-V-1974, I. Matoba det. in his coll. lex., 17-IX-1984)。

34. *Gibber incisus* (Sharp, 1891)

エグリヒゲナガゾウムシ

Sharp により “Ichiuchi, Oyama” を産地に *Tropideres* 属で記載された (l. c., p.308, 1891)。

従来 *Directarius* 属として取扱われて来たが森本博士は1981年 *Gibber* 属の種に取扱われた (Esakia, No. 17, p.79, Photo, M, 1981)。

音水、赤西以外県下で採集出来ていない。山地性のようと思われるが産出状況が良くわからない。

産地：宍粟郡音水 (2exs., 10-V-1970), 赤西 (3exs., 9-IX-1978, lex., 27-V-1979, 2exs., 23-VI-1979)〔畑中, 1973, 1975〕。

35. *Phaulimia aberrans* (Sharp, 1891)

クロホシヒゲナガゾウムシ

Sharp により Japan を産地に *Tropideres* 属で記載された (l. c., p.309, 1891)。その後 *Ulorhinus* 属の種として扱われて来たが森本博士により *Phautimia* 属に所属せしめられた (1981)。

本種も県下の山地にいる種のようなのである。

産地：宍粟郡音水、赤西〔畑中, 1975〕、坂の谷 (lex., 22-VII-1979)。養父郡水の山 (lex., 27-VIII-1957)〔高橋, 1981〕。美方郡扇ノ山〔畑中, 1975〕。

36. *Phaulimia confinis* (Sharp, 1891)

キボシヒゲナガゾウムシ

Sharp により “Hitoyoshi” 産でもって *Tropideres* 属で記載された (l. c., p.339, 1891)。この種も従来

Ulorhinus 属で扱われた。

神戸市内では割合見られるがその他ではほとんど知られていない。調査不十分と考えられる。

産地：川辺郡猪名川町槻並 (7 exs., 4-V-1979)。神戸市藍那 (lex., 29-VII-1978, I. Matoba det. in his coll. 3 exs., 29-VII-1978, 2 exs., 7-IX-1978, lex., 4-V-1978, lex., 9-VII-1979, 2 exs., 16-VII-1979), 烏原 (lex., 24-VI-1980, lex., 25-VI-1980, lex., 27-VI-1980, 3 exs., 4-VII-1980, lex., 25-VI-1981, lex., 6-V-1982)。

37. *Ulorhinus funebris* Sharp, 1891

シラホシヒゲナガゾウムシ

Sharp により“Chiuzenji”産で記載された (l.c., p. 301, 1891)。県下での記録は次のものを知るのみである。

産地：養父郡氷の山〔的場, 1978〕。美方郡扇の山〔的場, 1978〕。

38. *Aphaulimia debilis* (Sharp, 1891)

ホソヒゲナガゾウムシ

Sharp により“Junsai, Chiuzenji”産で *Tropideres* 属で記載された (l.c., p. 311, 1891)。

柴田氏は *Phaulimia* 属として図説 (Ent. Rev. Japan, XVI: 3-4, pl. 1, fig. 4, 1963)。森本博士は *Aphaulimia* 属の種として図説された (Esakia, No 17, p. 93-94, fig. 12, Photo, h, i, 1981)。

兵庫県下では赤西で採集しているだけである。

産地：宍粟郡赤西 (2 exs., 23-VI-1979)。

39. *Habrissus cylindricus* (Sharp, 1891)

ツツヒゲナガゾウムシ

Sharp により“Nagasaki, Nara, Junsai, Oyama”産で *Tropideres* 属で記載された (l.c., p. 311, 1891)。

県下からは次の記録を知るのみである。

産地：美方郡扇の山〔畑中, 1973, 1975, 高橋, 1981〕。

40. *Habrissus longipes* (Sharp, 1891)

アシナガヒゲナガゾウムシ

Sharp により“Junsai, Sapporo, Chiuzenji”産で *Tropideres* 属で記載された (l.c., p. 312, 1891)。

県下では山地帯にいる種のようなものである。

産地：宍粟郡赤西〔畑中, 1975〕, 坂ノ谷〔的場, 1978〕。氷上郡〔山本, 1958〕。養父郡福定〔的場, 1978〕, 氷の山〔畑中, 1975〕。美方郡扇ノ山〔鈴木, 1960., 辻, 岸田, 1972, 畑中, 1975, 高橋, 1981〕。

以上兵庫県産40種の分布を中心にまとめて見た。

本州産からすればまだ県内には未知の種がいるようで分布・生態両面での調査に更に努力を続ける必要があるように思う。

(APR. 1986)